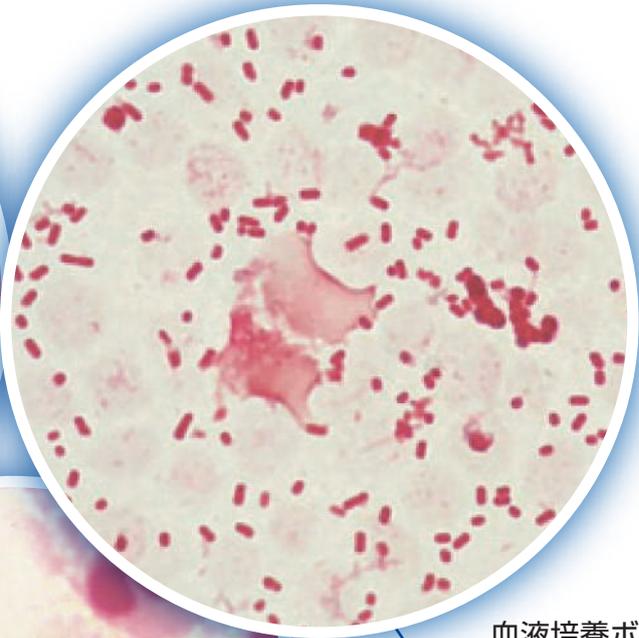
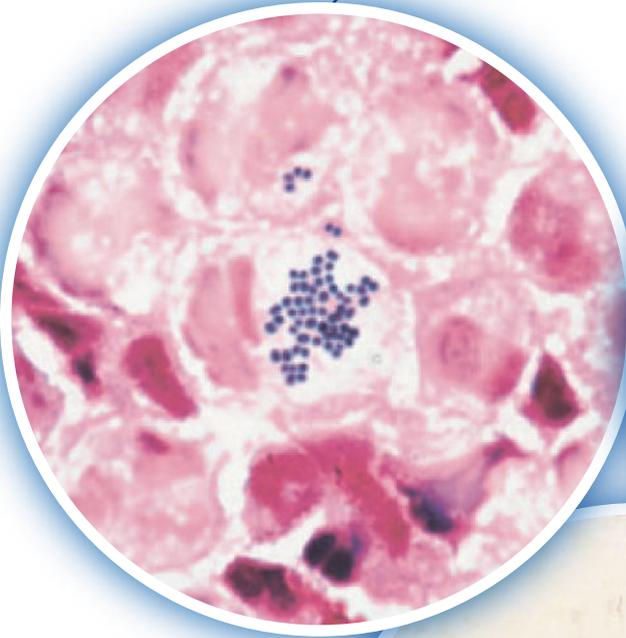


グラム染色液 **フェイバー G**

ビクトリアブルー／脱色液／フクシン／サフラニン

媒染・脱色が同時で、グラム染色が短時間に。

化膿性胸膜炎の胸水中に存在した
Staphylococcus aureus



血液培養ボトルに
発育した
Escherichia coli



多数の好中球が認められた、
グラム陰性双球菌
Neisseria gonorrhoeae

永田邦昭著
『感染症診断に役立つグラム染色』(第1版)より

品名	製品コード	希望納入価格(円)	備考
フェイバー G 染色液Aビクトリアブルー	05872	1,800	0.2% ビクトリアブルー溶液
フェイバー G 脱色液	05871	2,100	2%ピクリン酸 エタノール溶液
フェイバー G 染色液Bフクシン	05875	1,400	0.04% フクシン溶液
フェイバー G 染色液Bサフラニン	05869	1,400	0.25% サフラニン溶液



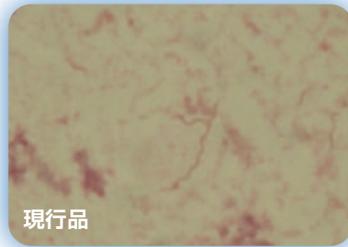
染色液A ビクトリアブルー 脱色液 染色液B フクシン 染色液B サフラニン

包装:500mL、貯法・使用期限:室温・12ヶ月

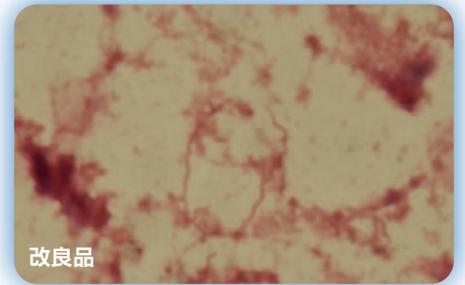
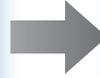
リニューアル

フェイバー G 染色液B フクシン

染色性を改善し、グラム陰性菌
をより検出しやすくしました。



現行品



改良品

(*Helicobacter cinaedi*)

特長

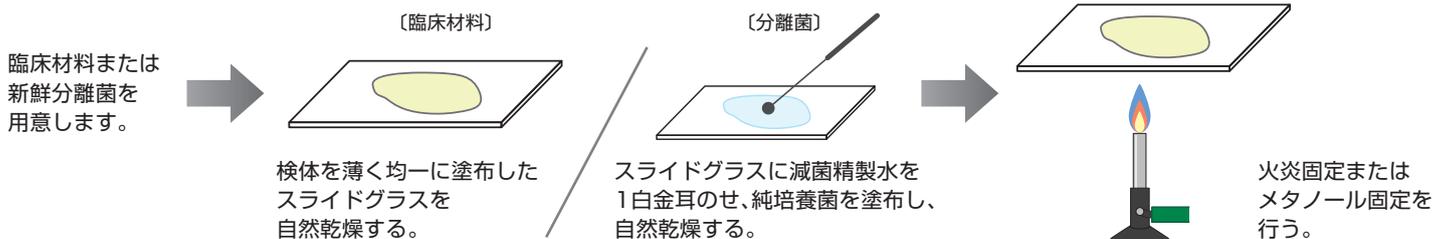
- 媒染と脱色を同時に行うため操作が簡便です。
- ヨウ素液による媒染およびエタノールでの脱色法は高度な技術が必要ですが、西岡法(フェイバー G法)はピクリン酸エタノール溶液で媒染と脱色を同時に行うため、操作が簡便で、誰でも簡単に良好な染色結果が得られます。
- グラム陽性菌はビクトリアブルーにより鮮明な青色に、グラム陰性菌は赤色に対比染色されます。

対比染色の赤色は2種類あり、好みによって選択できます。

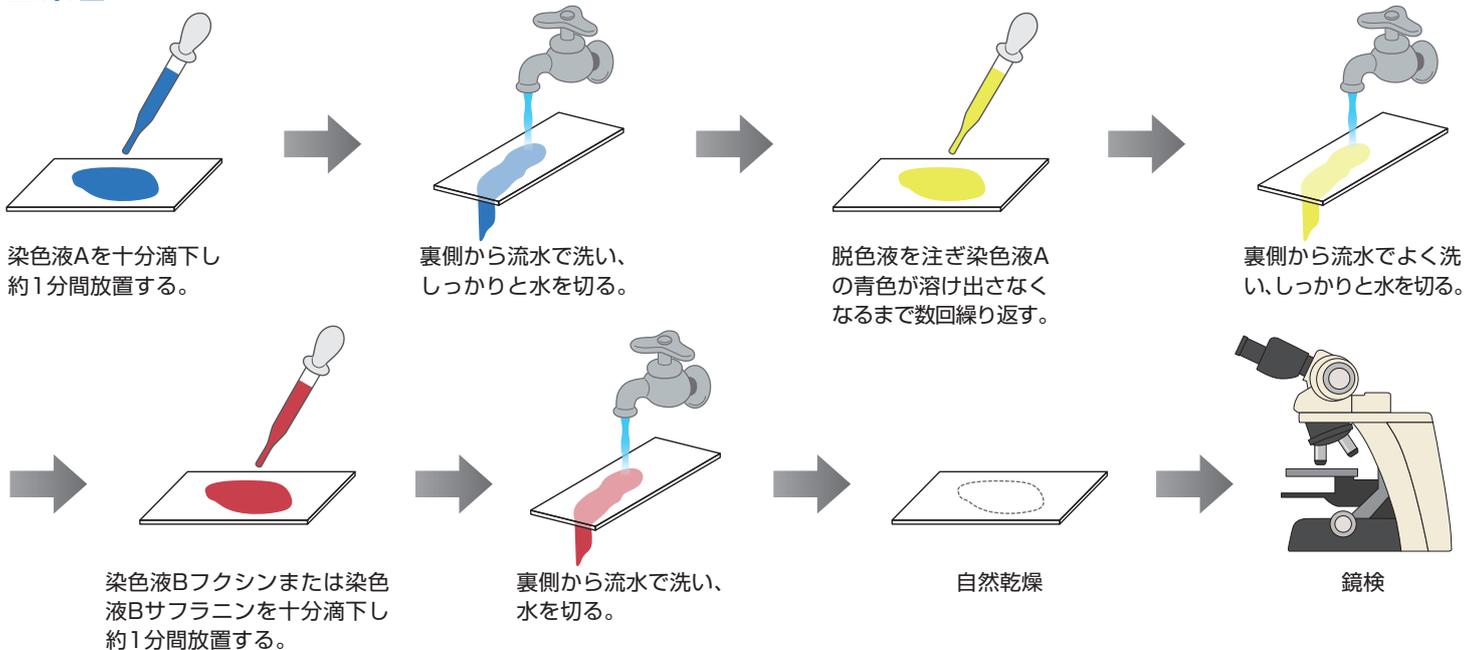
- フクシン液……マゼンタともいう塩基性色素で、紫がかった赤色に染まります。
- サフラニン液……鮮紅色の塩基性色素で、明るい紅色に染まります。

操作手順

染色前の準備



染色



注意事項

- ・染色液A後の水洗は水滴をよく切ってください。水滴が残ると脱色液のアルコール濃度が低くなり、染色液Aが抜け落ちて、グラム陽性菌が陰性化する場合があります。
- ・脱色液の水洗は十分に行ってください。水洗が不十分のまま後染色を行うと、色素の沈殿物が出現し、見にくい標本となることがあります。

製造販売元

島津ダイアグノスティクス 株式会社

お問い合わせ先：カスタマーサポート 担当

TEL : 03 (5846) 5707

URL : <https://corp.sdc.shimadzu.co.jp/>



臨床診断分野
医療関係者向けサイト



食品・環境検査分野
衛生管理関連サイト
コスモ会